

「特定非営利活動法人えがおつなげて」の 農商工連携等促進人材創出事業について

1. 事業モデル名：えがおの学校推進事業 ～都市農村交流（農商工連携）マネジメントコーディネーター育成事業～

2. 事業者の概要

補助事業者名：特定非営利活動法人えがおつなげて

所在地：山梨県北杜市

地域課題：農村の経済構造の悪化、資源保全管理不足（農地・山林等）、地域コミュニティの維持・存続の限界化

課題への取組：耕作放棄地を都市部のボランティアを募り開墾した農場を運営するほか、都市部の企業と提携した「企業の畑」制度を地域住民の協力のもと実施するなど、地域内外の人や組織と連携しながら、都市と農村の交流を通じた農村再生活動を実践している。

3. 事業目的・内容：農村が抱える課題を解決するために、農村に対する都会のニーズを踏まえ、様々な都市の人・組織等との連携を構築しながら、地域資源の活用方法等を導き、実践する「都市農村交流(農商工連携)マネジメントコーディネーター」を育成する。育成にあたっては、過去の活動実績をもとに汎用性のあるマニュアルを作成し、「えがおの学校」で必要な知識・スキルを習得するための研修を行った後、各地域において「都市農村交流マネジメントの組織化」等をテーマに研修生が主体となって、研修事業の実践活動を行う。研修の成果については、成果発表会を開催し、同時に地域・企業等とのマッチングを行う。

4. 事業の目標

育成する人材像：都市のニーズと農村の多様な資源を把握し、地域住民をはじめとした多様な主体との調整を行いつつ、都市農村交流（農商工連携）事業をマネジメント・コーディネートできる人材。

育成する人材数：3年間で150人



収穫作業のため「企業の畑」を訪れた提携企業の社員（山梨県北杜市）



「えがおの学校」における研修の様子（平成19年度）



「えがおの学校」成果報告会の様子（平成20年度）